

第2回 視覚障害乳幼児研究会 (S 55. 9. 27)

プログラム

司会者 兵庫県盲人福祉協会盲幼部
吉良 洋子

I あいさつ

神戸市立心身障害福祉センター
所長 福永 昭三

兵庫県盲人福祉協会
会長 大野 加久二

助言者 紹介

自己 紹介

II 研究発表

助言者 神戸市立盲学校
教頭 西山 隆三

イ. フラインディズムのある盲児と自閉症児

神戸市立心身障害福祉センター
講師 好馬 貞夫
会 研 修 生 山根 真由美

ロ. ある低視児の発達について

第2報
愛知県コロニー 中央病院
尾川 尚子

ハ. 質疑・討議

昼 食

III

ニ. 盲幼児の食事などの生活指導について
京都ライトハウス 盲幼児部

ホ. 盲幼児の基本的生活習慣指導に関する討議

IV おわりのことば

神戸市立心身障害福祉センター
訓練係長 大和田 久夫

うがい

ブライндеズムのある盲児と自閉症児 IQ 25以下

機能障害 神戸市立心身障害福祉センター

一切を認識する 総合認知能力の障害 講師 村島貞夫

I 盲人のくせ (Blindismus)

- 1. 視覚的なものとしては、視力がわずかに残存している
 華盲児が眼の前で手や指を振って、すきまからの光や影
 をみつめている。細い穴からの光に異常に反応している
 2. 触覚的なものとしては、目鼻口、なかに指を入れたり、
 殊に目を強くおいている児が多い。また耳唇、項髪や
 陰部などをいじっているものも多く見られる。
 3. 運動的なものとしては、身体をゆすったり、振ったり、
 頭をかり子のように振ったりしている。また部屋の中をぐる
 ぐる回ったり、その場をぐるぐる回ったりする子もいる。
 時には、頭を床にぶつけたり、自分の頬をたたいたりする
 自傷動作をする児もいる。

これらの盲人のくせをわづらわすものは、軽度弱視者より、全盲
児の多い者、華盲に多いと思われ、知的には比較的
遅延の多いものに多く現われている。

- Blindismus の分類 ストーン(1964)は盲人のくせ
 を二つに分け、引込み思考による癖 (Withdrawal blindism)
 と用いのための癖 (altering blindism) に区別して

未網症 小4~中1. ブラインデイズムが強い。 2

前者を 退行的・しかも 反復的に行なうにのつた行動で
このことより環境から刺激を遮断して(する)ことによる
のである。また後者は特定の筋肉を使って、例えば 手を
左右き下から歩くとした 行動をくり返すが、この場合は
環境を認知するために手をたたくのであって、心理的障害
感は残らないといっている。

- Blindismus の出現率は ある盲学校の幼稚園から小学
 部6年生まで、3名のうち何らかのブラインデイズムを持
 つている児は約3名ほどで 40% をしているが、高学
 年になるほど減少していく、これは各盲学校とも 30~40%
 ほどの出現率があると思われる。

ブラインデイズムの原因。 カットフォース (Cutforth
"Blind in School and Society 1933" は これの原
因を 自動的 自己刺激 (automatic self-stimulation)
と呼んで、盲児は一般に刺激が不足のため、自己自身に刺
激を与えているためといっている。

スミス (Smith, MA and Others "Differential
Assessments of Blindismus 1969" において、
三つの原因をあげている。 1. 適切な刺激が欠けていたり、
経験に乏しい状態から生じてくる。例えば 乳幼児期にお
ける盲児の行動は活発でなく、運動量も少ないために、
何か自分のからだに触ってこれば、心理的安定が得られ

自閉児... 服薬に異常な場合が多い。

好奇心の問題

るからである。2. 成長発達の過渡期において、新しい経験として、例えば、耳を牛のほじいてみたり、ゼンと音かした。興味のある者だったので、それ以後このように行動を繰り返すようになる。このように場合は、別のことを学習することによって、フラインディズムは消解することが多い。盲学校の場合3年~4年生あたりで消解するものが多い。

3. 欠る番目の原因として、親子関係の崩壊した結果として、このような木スペクトラムの反応としてのフラインディズムが出現したとしている。欠りの場合は別の適切な刺激を与えれば解消する。例えば手でおもちゃを握集し、振って遊ぶことを始めれば、牛を目に入れたいで自然に消えていくものもあり、欠りは成長段階への新しい階段を踏み出すことに成功すれば、フラインディズムは消失するものである。欠りの場合は家庭的な愛情の回復によって、漸次消失することもあるが、容易に解消しないものもある。

ここで自閉症との関係において、問題をふ(進めたい)。

II 自閉症

自閉症児の存在にも、フラインディズムとも盲児と同じような癖をもっているものが多い。例えば、eye contactが出来ない子、上の電線や電線から見ている子、フラインディズムのような同一行動を下つとくり返しているもの、言葉がなかったり、少なかったり、友人と遊んでいなかったりして孤立している。

なとあげるとできる。

このように自閉症児とフラインディズムを併った盲児の同一現象をとらえながら、その原因や指導について考えたい。

原因 最近では自閉症の原因について、変化がおこってきた。従来は自閉症の障害の本質を一種の情緒障害とみられ、家庭や環境の問題があまりに考えられてきた。しかし、現在では、何らかの生物学的な基盤に基づく特異な神経障害であると考えられるようになってきた。従来は親の育て方、施設の方弱などによる(の、精神分析的な幼少期^新傷などによると考えられてきたが、これらのことを修復してもなお、これらの障害が十分に治療できない場合が多くなって来た。それでは本質的なものは何かというところになる。

- 自閉症の特色
- a. 社会的発達障害(対人関係)
 - b. 言語発達のおくれと異常
 - c. 常同的行動パターンのパターン
 - d. 認知の障害

このうち、本質的なものとしては、言語の問題ではなく関係が共に本質的であり、これは深い生物学的不全に

原因をもつところのあらわれと思われる。盲の重障害者についてもこれと同じような生物学的不全のものが多いようにおぼれる。教育の問題

1. 現在のところ、自閉症児の根本的治療は未だ確立していない
2. 自閉症は学習と発達段階をたどれるように筋道を

立てて指導がなされれば、着実に進歩するのでは
ないか。

3. 統合的な目標をもつこと(これは従来大人関係と
情緒の安定を優先とした教育がなされていた)

このような指導は、アラインメントを待つ盲児の考えにも
ゆずれないのではなかろうかと思われる。

そして、自由児の根本的な欠陥は“好奇心”の欠如である
という点に、盲児の重障者にもあてはまるのではなかろうか。

● 好奇心の欠如。 自由児は周りの世界に対する好奇心に欠
けており、これはアラインメントを待つ盲児についても、同
じことが言えるのではなかろうか。本来、生得的に持っている
のに、それが発現できないという事は、本来的なエネ
ルギーに欠けているということである。

盲児の場合も視覚が欠けていることにより、好奇心をそそ
ぐことが少ないので、自分の中に沈潜してしまうのであろう。

● どう好奇心をそそげるか。 課題の一つ一つを冊面に教える
人仲要がある。1をいって2,3を知ることでよいし、そ
れほど関心をもつていなくてもよいのである。知ろうとする好奇心も
非常にすくない。これには課題を告げ、それを一つ一つこなし
ていくように、児童も教師も努力する必要がある。ここに努力
させるところにプレセラピーで起した課題学習、構造化
学習が必要になってくる

構造化学習とは、その児童の状況よりいって共に最も解
りやすいように整備することである。そこには教師がたが
友人としてではなく、その児童の道を開いてやり、その道で
教えてやる指導者として存在するゆとりがあるのであろう
が、教育の本質がある創造性を育ませるといって点か
ら多少は下れるかも知れないが、教師は親身として、
自由児が何をしたいか、何をすべきかを一つ一つ教えて
あげる義務があるように思える。新しいことは取り組ませ
るためには、慎重に課題を用意した上で、どうしても必ず
程度の強制が必要と存在すると思える。

重障の盲児の場合においても、自由児の指導と同じ事が
言えるのではなかろうか。自由に遊ぶ play therapy
よりもある課題を友人に指導することが彼らにと
って必要なことと思われる。

結論 このようにアラインメントを待つ盲児の重障者
の根本的根源としては、右に視力が無いというだけでなく
生物学的な、胎発達の過程に問題がある上に視力が無いと
いうところから、自由児が示す行動と同じような状態
におかれることが多々ありうるところから、これら児童の
教育については自由児の教育の手法を学ぶことが、視覚
その他の感覚教育を推すものであるであろう。

障害名 小頭症 白色瞳孔症 小眼球
 生育歴

胎性期: 2.5ヶ月時に性器出血、1Mにわたり流産のための注射3本×5回
 53/2/3 破水入院 注射 3/8 出産(微弱陣痛)

周性期: 1w早く出産
 体重 1860g 身長 43.5cm 胸囲 26.5cm 頭圍 27.0cm

乳児期: 首すわり 3M あやすと笑う 6M
 寝返り 7~8M 光をおぼしげうにみる 2M
 ひたりすわり 12M 光の方を向く 6M
 人見知り 8M (声に泣く)

初診時(54.8.4 1年5ヶ月)

- ・フルフル寝返りして移動。うつ伏せで、腕を伸ばし、後ろに動く。仰向けでは、お尻をうめたり、足を口に入れたりする。
- ・坐位は、ひたりでは起きあがりやすい。まだ不安定。手はつかず、頭は起こそうとする。両手補助で立位可。つま先立ちが多い。
- ・音に手を伸ばしたり、顔を向けたりしない。聞いていない。
- ・玩具、長く持ち続けたい。たたくの口に入れる、口に入れ両手で再出る。
- ・「こんにちめ」に頭を下げる。「バババ」「アアア」「ババ」などのオウム返し。

年齢	粗大運動	音に対し、言語・理解	手指の操作・遊び
1.5年	50% 四つ這いで、ほとんどの少し前進 1.5歳 寝返り移動多く、単 身体を動かして、じっとしている が少くない。坐位でじっと することも多い。 立位: 人の手につかまらずに ひたり立ち→立位可。 人にしがみついてひたり立ち可。 50% つま先立ち 可。両手補助 の立位。つま先立ちが目立つ。 足を前に投げ出した坐位。 顔はうつ向き。背中丸められ 膝も後ろにひかへかみ不安定。 ・とんび坐り多く、それで手を つかずヒョンヒョンとんをい →そのため遅くたどる。	50% 玩具の音に手を出す。 ママ、パン、ネネ、ア、ババ といわかのマテ可。 意味ありもの…ママ、ア 50% 「どうぞ」と言うとき、手で前を つかし、手をひき、大人の手の 上のおかしをつまんで食べる。	50% 赤いおもちゃの口に入れて 口に入れて遊ぶ。 50% 物を持つこと少く、家の中 庭のすまゐに、おもちゃを左 右にひきはらう遊び。 バチ…球を口に入れる。棒は つかまぬ。 鈴…たたく。おぼしげで遊ぶ。 50% 電話機について、すぐ口を かく。(音がでるといって?) スライダークレヨン 電たくか、つまみをとる が少ない。
2年	50% 立位: 自分から、まをから手を 伸ばし、1.2秒ひたりで立つ。 手すりにつかまらずに伝い歩可。 50% 両手補助で歩くこと可。 ・(足にすわりのようにした(遊い ・ひたり立ちで、ヒョンヒョンとんを 交互に出す時と。	50% オムテンテン、ババ、アアアの 動作多。生手手」で手をたたく。 「いっつ」→「ター」 小鳥の鳴き声をまねて、→「チッ」 ひらうきの音→「アーン」 アーア(お草)ヨイヨイ(外出)アアア (入浴)タチ、テテ(手)等のオウム 返し。	50% ひもつまみもち、振って 口に入れる。 50% 軒下の中を動くとき、必ず、 棒を口につけ、移動。

50% 立位10秒間可。 家で壁ついで歩くこと可。 50% ひたり歩き 5~6歩可 50% 両手補助で歩くこと可。 50% 片手ついで歩くこと可。 50% 上体のフワフワが少く(たどり、 こらひそうにひたりも何と立ちま たり、ふらふら。 家の中の位置関係はわかた る(カセットの場所、しきい)	50% トレーニング・ハンズにたどる、か たあ、い」と言うこと可。 オム、母親にたどらるははははは ニウニウ(押し)たどる。(丸い 球)、「アアア」(入浴)、アアア(便 おいよ(たどる)等、要求時。 「あうあう」→「アアア」 「いっつ」→「アアア」 家で他人が来ても、泣かなくた たり。(カセットの場所、しきい)	50% 両手補助で「アアア」 50% ホール投げ…おぼしげで、 腕をひらいて、おぼしげの 待てい、1回ホールの口にひ おぼしげの指ももてたどるの せや。 木琴…バチを口に入れる。おぼし 太鼓…直接たた(のはいいが、 バチはたたく。
50% 非や不安定な感じがあるが、 ゆくりた歩みに。	50% 「アアア、アアア」と言うこと可。 腕をひらいて、おぼしげで、 音はたたく、音はあてい 音不明瞭な時はある。	50% 足にすわってアアアに (うたは、うたアアア) ・テレビの側面、ガラス息を めく、バイスはたたく。 ・おもちゃを少くたどる。 舌を出してたどるようになった。 ・床をたたく。 ・玩具を持って、それでたたく、 遊ぶ。
3年 「ママハイハイ」「オフトンネネ」 の二語文が、一人言。 「○○ちゃん」とおぼしげで、「ハイ」と 返す時と、同じように(り返す 時が、「ババは」とまねて、い にかかると「ハイ」と言ったり、 「くる」と言いつつ人の前に待	50% 「バババババ」 「オフトンネネ」の補助 詞がついてた。	50% 足でてもやりとりを楽し ました。 50% 自分からよく動き、手に触 したも、足にさわったもの は、一回触れただけ、長くは つかない。 木琴は手で、太鼓、タンバリン などは直接手でたたくものが 長く、うたアアアたり、「よたネー」 などのソングで楽しむ。

症例1 55.4.10生 (1才4ヶ月)

障害名 先天性の体形成

(理症) 右眼 白色瞳孔 左眼 角膜混濁

生育歴

39wで出生 3260gであった。

生後1ヶ月頃異常に気がつき、病院に行った。

首坐 4ヶ月 生歯 4ヶ月

あやると笑う 5ヶ月 ねがえり 7ヶ月

ひとりで生きていることができる 8ヶ月 養育者認知 8ヶ月

他人の目 1才 ひとりで生れるようになる 1才

1才2ヶ月 (7月1日)

寝返りで部屋のなかを動く。

特に音がでる物は好きではない。最近音に手を伸ばすようになった。

ミシン、フリーターの音は嫌い

トランプはただ眺めている。タンバリンやカチャは求めている。

年齢	粗大運動	音に対する反応	手指の操作動作	その他、備考等
1才3ヶ月 (7月10日)	床に生きているのが嫌い。おでこ寝返りして閉眼位になる。閉眼位で頭をつきお尻を上げる音朝が嫌いな。いじりたがる。	懐かた(鈴)以外なら音が持てぬ。仰臥位で鈴を落とすと手を挙げる。構. ぶらぶらの音に喜ぶ。	音がでる玩具の音が、タコ、起すあかりにほしに手を出さない。	生後初期に寝るようになった。 履物の音が嫌い
1才3ヶ月 (7月22日)	椅子を持って足の履き替えをするが、ついでにはしない。遠くで寝返りして起きると、お尻を上げる音から後たい、足さる。	押すと音がなる。玩具を両手でつかむようにして音を出して口にいれる。自分の音がない所、玩具を落とすと音がして取りにいかなければいけない。指吸いや手を動かしてはいる。		

				2才 目を動かして音と水しぶきがあるのを喜ぶ。 音の音に目を上げようとする。 木片や紙やテープ等に操作をする。 紙を2、7-2
1才3ヶ月 (8月5日)	四つ這いの前進ができるが、音や音の方に行かない。音には目を向ける。音に手を伸ばすことへはかまわれない。	木片や紙の音に目を向ける。音に手を伸ばすことへはかまわれない。木片を自分で押しつぶして遊ぼうとする。	お尻を動かすようにして両眼押しをする。音が嫌いな。	お尻を動かすようにして両眼押しをする。
1才4ヶ月 (8月10日)	2才の音は時々とびきり喜ぶ。階段の上り下り、早足な音は喜ぶ。	木片や紙の音に目を向ける。音に手を伸ばすことへはかまわれない。木片を自分で押しつぶして遊ぼうとする。	2才の音は時々とびきり喜ぶ。階段の上り下り、早足な音は喜ぶ。	寝返りなどで寝た状態にあるように部屋のなかを移動する。

坐位姿勢の嫌いな子。普段は寝返りをしたり、遠くで寝返りして、体の姿勢を変化させる。言語の聞きとりはあるが、玩具で遊ぶことができない。
仰向けの際に足を落として遊ぶが、遊びがすぐ体を動かす方にかわり、音に手を伸ばす力があっても、その力を十分使っていない。四つ這いも自由自在に動いても音や声に行くことはない。
ただ坐位である食事時間は、食べるための手の動きはないが、お尻を動かしたり、お茶をあそんだり、本見にしてはよく手を使った遊びをしている。

年令	粗大運動	音に対する反応	打物の操作: 好み	その他: 親への対応
1才4月 (7月9日)	両腕広げ 目の前の物を両手で つかむように腕を 回す 汽車(100g)を押し25cm程 歩く 1分以上一人で立っている 自転車(20cm)を足で前後 に動かす。	玩具や人の声に対し 行こうとする行動は 少ない		つかむ物の練習
1才4月 (7月16日)	机の手を机と左右 両方向につかむ手を する 両腕広げ状態で歩く 1.5m程の距離に進む		水 左右に自由に水面を 歩く 20cm距離に人が いなければ出してくる	今好きなこと 車(押して4.5m程) 歩くこと プッシュ 水 音の反応電気

一人で1分以上立っていることが出来るという点に一人で坐れない、物に
つかまえて立っている、アバフな声を出して持っている点があるが音に対する
特殊行動は症例1に比べるとよい。

しかし、音の聞き分け、好き嫌いがあるので、何にでも手を出す
わけではない。

11才子、ひびの音が出ない物から布製の玩具、木製玩具へと
すすみ、音がでる玩具も怪れていた。